検索結果 そのまま「答え」

試行錯誤し考える力 伸びず

デジタル教科書を問う

端末導入1年 [2]

すぐ結論

東京都内の公立小学校では2月、卒業を控えた6年生のクラスで、家族などに感謝のメッセージを刺しゅうでつづる家庭科の授業があった。

女性教員が作業内容を説明すると、児童たちは学習用端末に「刺しゅう」や「感謝メッセージ」と打ち込み、検索を始めた。次々と出てくる見本の画像やアニメのキャラクターをそのまま絵に描き写す。

端末の配備前は、一人ひとりが教員やクラスメートと話しながらメッセージやデザインを考えていたという。女性教員は「考える過程を飛ばし、すぐに結論を得ようとする。効率的にも見えるが、これで良いのか」と悩む。

経済協力開発機構（OECD）が、2012年の国際学力テストの成績を分析したところ、コンピュータを使う頻度が多い学校ほど読解力の成績が低かった。

小学校の国語教科書に採用されている宮沢賢治の童話「やまなし」には、正体不明の存在「クラムボン」が登場する。何であるか明確な説明はなく、想像によって様々な解釈が成り立つ。しかし、神奈川県鎌倉市のある小学校では、クラムボンについて考える課題を出したところ、子供は自ら考える前に端末で検索してしまったという。

教員養成に携わる藤本和久・慶応大教授（教育学）は「試行錯誤しながら、複雑な事柄を読み解いて考えたりする努力に学習の意味がある。安易な端末の利用は思考力の育成を阻みかねない」という。

「読解深まる」紙が優位

増田教諭（中央）は「探究」紙に授業で配り、生徒らは実験や話し合いを通して変化する自らの考えを書き込む（静岡県牧之原市牧之原中学校で）

紙とデジタルの教科書のメリット

デジタル教科書	
動画や音声を視聴でき、児童生徒の興味関心を高められる	89%
ルビ振りや読み上げの機能があり、特別な支援が必要な子供が学習しやすい	66%
紙の教科書を複数持ち運ぶのに比べ、軽い	49%

紙の教科書	
通信環境や電源の有無などにかかわらず、いつでも使える	80%
取り扱いが簡単で学習に集中できる	47%
じっくり読むことができて、読解力や思考力が深まる	43%

※複数回答。読売新聞のアンケート調査から

活用模索

デジタル機器を先進的に導入した自治体でも、端末を活用した読解力や思考力の向上が課題となっている。

14年度までに中小中計34校で端末を配備した東京都荒川区は18年、端末活用について区の意識調査に対し、「学習への興味・関心」が向上したと答えた小中学校はいずれも9割以上だった。一方、「児童生徒の思考力」の向上があがられたのは、小学校3割、中学校2割と伸びなかった。報告書は「肯定的な回答が少なく、端末は効果的に活用する研究が必要」と指摘した。

読売新聞の小中学校100校を対象にした調査（回収率65・8％）でも同様の傾向が出ている。デジタル教科書の長所（複数回答）を聞いたところ、「動画や音声を視聴でき、児童生徒の興味関心を高められる」が80％だった。これに次いで「じっくり読むことができて、読解力や思考力が深まる」（42％）だった。紙の教科書の場合、42％の学校が、読解力、思考力が深まると回答した。

◇

デジタル教科書や学習用端末に関するご意見、情報をお寄せください。あて先は教育部（メール kyoiku@yomiuri.com、ファクス 03・3217・9908）へ。

書いて、探究

自分の考えの変化を紙に書かせ、思考力を伸ばそうとする取り組みもある。

静岡県牧之原市の牧之原中学校の増田真大教諭（38）は、理科の授業で「探究紙」を生徒たちに配り、実験や話し合いの前後に、自らの考えの変化を書かせる。

生徒は、紙に書き出すことで、自らの考えの間違いに気づき、修正を繰り返すことで思考力を養える、増田教諭は「紙に誤りもあえて残すことが、思考を重ねることにつながる」と話している。

朝の警報 地下に駆け込む

市民「こんな近くで」

空襲警報が鳴り、地下シェルターに避難した市民ら（18日、ウクライナ・リビウで）＝関口寛人撮影

リビウにミサイル攻撃

【リビウ（ウクライナ西部）＝倉茂由美子】ウクライナへの侵攻作戦を続けるロシア軍は18日、西部リビウもミサイル攻撃の標的とした。市内では朝から空襲警報が鳴り、市民が地下シェルターへと駆け込んだ。〈本文記事1面へ〉

リビウでは18日朝、軍施設3か所と民間施設の計4か所にミサイルが着弾。7人が死亡し、子どもを含む11人がけがをした。民間施設は鉄道駅の近くにあり、駅を狙ったとの見方もある。ウクライナ西部にも、ミサイル攻撃の標的とした。市内では朝から空襲警報が鳴り、市民が地下シェルターへと駆け込んだ。〈本文記事1面